

【連載第4回】

立石泰彦氏

理事兼佐賀支部長

タツミ電材株式会社

代表取締役社長



連載企画

支部訪問インタビュー

教えて支部長さん

組合の方針や業界の最新動向を、組合員の社員の皆さまにも広くお伝えして、いかにして支部の活性化と結束を図っていくか。

各県支部長に、支部の現状と今後のお考えをリレー方式でお伺いしていきます。

シリーズ第4回は、佐賀支部 立石支部長を訪ねました。

— 佐賀支部の活動や構成についてお聞かせください。

組合員は8社、うち他県に本社を置く準組合員が4社で構成されています。

九州に一本化される前の佐賀県単組は、昭和50年代に“左近会（さこんかい）”という名称で同業者の会をもったのが始まりです。2ヶ月に1回のペースで顔を合わせて活発な情報交換をしていました。そのころは、商材も地区も

いい意味での“棲み分け”ができていて、ソフトボール大会などのレクリエーションなども催し、社員間の親睦も深めていました。

ただ、廃業や統合、業態の変更等で組合員は年々減少し、今は本社組合員4社のうち、2社が佐賀市、2社が唐津市ということもあり、なかなか集まる機会を持ってないのが正直なところです。それでも、経営研修会、技術研修会の中

心事業と位置づけ、継続開催しています。その他事業としては、ボウリング大会や賛助会員さまを交えた懇親会をしています。

ー 佐賀のビジネス環境について伺いたいと思います
が、J R 佐賀駅周辺は県庁所在地にしては、少しさみしい印象を受けました。

残念ながらそうですね。ただ、2023年開催の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催に向け、整備は進んでいくでしょう。駅から佐賀県庁舎までを貫く中央大通りは耐震性に問題がある古い建物が多いので、これから開発が期待できると思います。

あと、スパンが長すぎて私はその全貌を見届けることはできそうにはありませんが（笑）、佐賀県では、平成19年に、“佐賀城下再生百年構想”が策定されました。

水、緑といった自然的な空間と歴史的雰囲気を感じる公園と住宅地や公共施設との調和のとれた空間を形成し、孫の世代（100年後）まで受け継げるような品格あるまちづくりを進めています。

具体的には、佐賀県庁北側にハローワークや商工会館などの公共施設を集約して活性化させ、南側から空港に至るまでの地区を、観光でも楽しめる文化薫るまちにしていこうという構想です。財源確保に苦しむなか、肌身で変化を感じるまでには至っていませんが、我々業界にとっても商機になりますので、今後も注目していきたいです。

ー 福岡都市圏・福岡県南部との道路のインフラも整備が進んでいますね。

大幅なアクセス向上に伴う経済効果について期待したいところではありますが、他県に出やすくなる分、買い物は

福岡へ行こう！となり、経済効果はあまりないのかな？と危惧しています。そういう意味では、縦断道路の整備によって、県内の回遊を促進するほうが効果はあるのかもしれませんが、佐賀唐津道路は1973年に事業が始まりましたが、いまだ事業中ないし計画中段階であり、全面開通が待たれるところです。

ー 行政は海外観光客の呼び込みにも力を入れていて、最近ニュースでもよく耳にします。

佐賀市内に立地する九州佐賀国際空港のLCC路線の大幅増は大きいですね。唐津市では、唐津港へのクルーズ船の寄港に力を入れているようで、去年は4回程度だったのが、今年は12回の寄港が予定されています。

佐賀には、城、神社、焼物、史跡、新鮮な海産・農産物に旨い酒！と、体験を求めてやってくる訪日リピーターの方々にも充分満足していただける観光資源がたくさんありますから、多くの人に注目していただきたいのですが…。

2018年の都道府県の魅力度ランキングでは、44位という残念な結果に甘んじています。わが県・わがまちのPRが苦手で上手くできていないと思います。

反面、佐賀県民は結構新しいもの好きなところもあって、あまり知られていない“日本初”というのが佐賀にはたくさんあるのです。今は当たり前となった街路のイルミネーションなんかも、実は佐賀が一番に始めたそうです。

歴史をたどれば、日本初の反射炉・実用蒸気船製造…近代日本の礎となる産業もこの地で生まれています。作家の司馬遼太郎氏も、「幕末、佐賀ほどモダンな藩はない」と、佐賀藩の先進性を評したくらいですから。

ー 歴史といえば、今年1月まで10ヶ月に渡って開催された“肥前さが幕末維新博覧会”は盛況だったとか。



今年開催したボウリング大会。平日の仕事終わりににもかかわらず、多くの組合員が参加し、親睦を深めています。



佐賀北ロータリークラブ次期会長（現在会長）として、大型のデジタルサイネージを佐賀市に寄付する立石支部長（左）。様々な活動を通じて活躍の場を広げておられます。

期間中の来場者は223万人を超え、うち県外からの来場は56.1%と、ずいぶんな経済効果があったそうです。こうした地元の偉人の功績、歴史、魅力を小さな頃から学ばせるといっても、長い目で地元を発展させるために重要だと思います。

佐賀には大学や専門学校が少ないため、高校を卒業すると県外に出ていく人が多いし、Uターンで戻ってきたくても働き口の受け皿がなく、人口減少には歯止めがかからない状態ですが、これは教育にも一因があると思います。

地元の魅力をしっかりと伝え、佐賀で起業しよう！という若者の育成に力を入れてほしいものです。

－ 佐賀支部では電気工事組合さまとの関係が大変良好で研修会の合同開催等、活発に行われているようですね。

佐賀県電気工事業工業組合さま、同青年部会さま主催の研修会や安全大会、懇親会、新年会にも頻繁に出席しています。青年部会さま主催で、異業種交流会を開催したこともあります。このときは運送組合、酒造組合、青果組合等々、電気業界とは関係ない異業種の組合の方々に参加されてきて、貴重な出会いの場となりました。顔を合わせて付き合うことで、会話の中から、ハッ！とする商売のヒントを見出したり、ご縁が広がることで、思わぬ商機を得ることもあります。既存のルートだけでは商売できない時代ですから、こういう場にお声掛けいただける存在なのはありがたいです。

－ どの業界においても人手不足が深刻な問題ですが、県内の工事店さま、電工さまの数は減っていますか？

県内で顕著に減っているとは聞きません。組合に加入していない工事店さまや異業種の工事士免許取得の現状があ

りますので、実数としては増えているかと思います。

組合に加入していない方にお話を聞くと、加入するメリットが見つからないと口を揃えておっしゃいます。われわれ電材業界にしても同じ課題を抱えています…。

－ では、組合の今後をどのようにお考えですか？

これまでの教育事業や共同購買、交流事業に加え、新たな価値を打ち出し発信していくことが大事かと。

前述したように、今のままでは佐賀支部はしりつぼみになってしまいます。工事組合青年部さまと新しい事業や試みをはじめようにも、構成員が足りません。

戦後創業した多くの電材店では、世代交代が進んでいません。私は若くして社長に就任したおかげで、二代目となった他社先輩たちの現役バリバリの姿に学ぶことができましたが、経済環境が激変するなか、これから経営者となる方の苦労と不安は計り知れないと思います。

そこで、重い腰をいっちょ上げてみようかと、私は最近、電材業界の北部九州地区のとある会で、若手の会を発足させました。支部会や公的な集まりとなると、参加できるのは組合員（代表者）に限られますが、この会は支店長や所長も積極的に受け入れ、課題については前向きに忌憚なく意見を交換し、創造力を育み、情報発信できるような会にしたいと考えています。

この活動は佐賀県だけに限るとは定めていませんので、九州で広く仲間を増やし、新しい発想をもって、この厳しい環境をともに乗り切っていきたいと思っています。

本日はお忙しいなか、貴重なお時間をいただきありがとうございました。



佐賀県設備設計事務所協会、佐賀県電気工事業工業組合青年部会、九州電設資材卸業協同組合佐賀支部からなる「三団体合同研修会」。ゴルフコンペや懇親会も定期開催。



熊本震災の折には青年部会さま主催のボランティア活動に参加。ゴミ搬出作業、支援物資仕分け作業等の支援を行いました。



連載 4 回目にして、とうとう対談と関係のない写真になってしまいました…

Best・Shot 今日の一枚

有明海に面した佐賀平野は、全国有数の米どころ。加えて北の脊振山系、南の多良山系の良質な伏流水に恵まれているため、日本酒造りにはもってこいの環境です。「鍋島」に代表される佐賀の酒は、国税庁が調査した各県甘辛度・濃淡度（平均値）で、長崎について二番目に「濃醇旨口」と位置づけられ、海外でも人気を博しています。3月末に鹿島地区・嬉野温泉地区合同で開催される酒蔵まつりには、8万人を超す日本酒ファンが県内外から訪れます。酒蔵を巡り、できたてのお酒を味わい、食や文化、歴史を楽しめる最高に楽しいイベント。おすすめです。

教えて支部長さん

佐賀支部データ

■ 事務局

佐賀市鍋島町八戸1932番地 タツミ電材株式会社内
TEL 0952-24-0251

■ 支部構成員

組合員（8社 うち準組合員4社）

朝日電材株式会社

タツミ電材株式会社

東光産業株式会社

山電株式会社

[準] 株式会社カンサイ 佐賀営業所

[準] 東芝電材マーケティング株式会社 佐賀営業所

[準] 平岡電気株式会社 佐賀営業所

[準] 株式会社富士商会 佐賀営業所

賛助会員（24社）

■ おもな年間行事

2月 情報交換会

2月 工製販合同懇親会・三団体ゴルフコンペ

3月 ボウリング大会

4者意見交換会（不定期開催）

経営研修会・技術研修会 各1回開催

Pickup Person



Yoshinobu Yamashita
YAMADEN Corp.

FOLLOW



山電株式会社

代表取締役 山下 慶展 さま

今年4月20日、弊社設立50周年記念の展示会を開催しました。

工事店さまはもちろん、ご家族の方々にも楽しんでもらえるように、社員みんなで考えたイベントや、お笑い芸人ライブなど、大変好評だったようで、ひと安心しました。

今後も60周年、70周年と重ねていけるよう頑張っていきたいと思います。